

# としょかん南アルプス



南アルプス市立図書館通信 No.37 2017年10月1日発行 <http://m-alps-lib.e-tosho.jp/>

いよいよ10月です。市立図書館では、読書の秋を満喫していただくために、「子どもフェスタ」や作家の落合恵子氏を招いた「講演会」など様々なイベントを開催します。また、ふるさと人物室では、第3回展示「言論人・エコノミスト・政治家 石橋湛山×気骨」が始まります。多くのみなさまのご来館を職員一同お待ちしております。

## 南アルプス市議会 副議長 飯野 久 いの ひさし

私にとって本はなくてはならないものです。「なぜ、これほど本を読むようになったのか？」今、改めて振り返ってみると、宿題をするために友達に誘われて通った小学校の図書館が原点になっている気がします。

小学生ですから、宿題をしているうちに周りにある本が気になり、思わず手に取ったのが『キュリー夫人』という伝記です。その後、『エジソン』や『井上传』といったシリーズ30巻を夢中になって読破した時には、なんとも言えない高揚感を味わいました。

また、司書の先生や図書館に集まる本好きな仲間との会話から、色々なジャンルの本に興味を持つようになりました。

小学校、中学校と図書館通いは続き、剣道部の活動に熱中していた高校時代を除いて、私はいつでも本と共にありました。

ノンフィクションを好んでいた私が、山本周五郎、太宰治、司馬遼太郎などの作品を通して人間の奥深さを知り、小説に熱中したのが大学生の頃です。もちろん、授業に必要な難解な専門書も苦労しながら数多く読みました。この時代の経験が、現在、議員活動の中で心がけている「徹底的に調べてから質問する」という姿勢につながっていると思います。



<中央図書館にて 飯野副議長>

最近では、著者順に分類したオリジナルの手帳を作って読書を楽しんでいます。

だんだん増えていくページを見ていると「もっと読みたい」という意欲が生まれます。

そして、小学校の図書館で初めて感じた「ああ、こういう人がいるのか」「こういう考え方もあるのか」という気持ちが、今でも私の原動力となっているなど、しみじみと思うのです。

### 私が出会った本

『樫の木は残った』 山本周五郎/著

『街道をゆく』 司馬遼太郎/著

『一瞬の夏』 沢木耕太郎/著

### お気に入りの作家

沢木耕太郎 (さわき こうたろう)

1947年。東京生まれ。横浜国立大学経済学部卒業。『テロルの決算』で大宅壮一ノンフィクション賞、『深夜特急 第三便』でJTB紀行文学賞受賞。

他に、『檀』『凍』『キャパの十字架』など著書多数。

# 私の読書歴

## 第3回

地域の人々に愛された

# 「ボロ電」を知っていますか？

現在市内を巡っている南アルプス市コミュニティバスは、「ボロ電」をイメージした外観になっています。

このバスをみて、「懐かしい」と感じたり「バスなのに電車？」と気になったり、世代によって様々な思いがあるのではないのでしょうか？

「ボロ電」とは戦前から戦後の一時期、甲府駅前―甲斐青柳（富士川町）間の20.3kmを、55分ほどで結んでいた山梨交通電車線の愛称です。

当時、県西部を走る電車は他になく、30分間隔で時間通りにやってくる、このオレンジ色の1両編成の電車のことを、人々は親しみを込めて「ボロ電」とよび重宝しました。

今でも「巨摩高校前駅」跡に残るプラットフォームの石垣など、市内のあちらこちらにその面影が残っています。

昭和37年、交通事情の変化により、ボロ電の運行は廃止されました。運行ルートだった廃軌道は、現在、車道として利用されています。



## われらが青春のシンボル



樋泉久好さん

芦沢達郎さん

昭和31年から3年間「ボロ電」を通学に利用したおふたりに、懐かしいおはなしを聞かせていただきました。

樋：僕が先に「巨摩高校前」から乗って、芦沢君が「西野」から乗ったよね。

芦：そうそう、朝は特別に車両が3台走っていて、それでもすごく混雑していたね。

樋：座れたことがなかったからね。

芦：工業高校に通っていたから、大きなT定規を持っているのが大変だったよ。

樋：景色が桑畑から果樹園、開国橋を渡ると田んぼ、そして住宅地へとだんだん変わって行って・・・。

芦：今の山交デパートがある終点に着くんだ。かわいい女の子もたくさん乗っていたね。

樋：甲府二高や英和高的の女の子がいたねえ。

芦：僕たちの青春の思い出だね。

### 「ボロ電」に関する本

図書館は、「ボロ電」に関する本を所蔵しています。リストの他にもありますので、ぜひ、読んでみてください。

書名	著者
ボロ電ロマン	楡形の郷土研究部
山梨交通鉄道線回想録	花上嘉成
山梨交通60年史	山梨交通株式会社
山梨の鉄道	川島令三

図書館教養講座を開催します。ぜひ、ご参加ください

### “ボロ電”と親しまれた山交電車の歴史 —資料で見る電車線の沿革—

11月3日(金)【祝日】

午後1時30分～3時

楡形生涯学習センター あやめホール

市内各館にて

10月1日(日)から

電話または来館にて受付



山梨交通株式会社

講師 雨宮 正英 氏

中央図書館(055-280-3300)

中央図書館芦安分館(055-282-7285)

白根桃源図書館(055-284-6010)

八田ふれあい図書館(055-285-5010)

わかくさ図書館(055-283-1501)

甲西図書館(055-282-7291)